

吉野川下流域の水面利用

兵庫 正員 ○徳本 聡
 徳島大学工学部 正員 中野 晋
 徳島大学工学部 正員 三井 宏

1. はじめに 吉野川水系下流部の広い水域では、近年マリンスポーツの活動が盛んになり、また、今後イベント等の利用が増加するものと思われる。しかし、現在吉野川水系の高水敷や護岸等の陸域空間については、吉野川水系河川環境管理基本計画により様々な指定がなされているが、水域空間については、あるがままの状態を利用する空間とされほとんど触れられていない。そこで調査を行うことによって水面利用の現状を把握し、今後のあり方について検討した。

2. 調査方法 調査は主に聞き取り調査、現地踏査を行った。その調査の対象となった区域は図-1に示す吉野川（第十堰～河口）および旧吉野川、今切川、榎瀬江湖川、宮島江湖川、鍋川の全区間である。調査内容はマリンスポーツ、釣り、漁業、各種イベント、船舶の係留に関する水面利用状況と問題点、河川内での水難事故（過去5カ年）である。聞き取り調査は漁業協同組合、マリンスポーツ愛好会、漕艇協会、マリーナ等の関係者を対象に実施した。

3. 調査結果

①活動場所の競合 対象区域内ではマリンスポーツのボードセーリング、水上バイク、ヨット、手漕ぎボートおよび釣り、漁業が水面を競合している。この状況を図に示したのが図-2でありこの図は、最も競合の激しい6月～8月の状態を示している。図-2によると、高徳本線橋梁と吉野川橋の間ではヨットと釣りおよび漁業、吉野川橋と吉野川大橋の間では各マリンスポーツと漁業、河口付近では釣りと漁業が水面を競合している。この中で特に、吉野川橋と吉野川大橋の間での競合が激しく、図-3に示すように水上バイクとボードセーリングの接触事故や各マリンスポーツによる養殖施設の損傷等のトラブルを引き起こしている。また河口付近の釣りと漁業の競合により、釣り人が投棄した釣糸、釣針や餌を入れていたビニル袋等のゴミ類によって漁具を傷めたり、船に損傷を与えるといったトラブルを引き起こしている。また投げ釣等による釣糸、釣針が航行中の船に損傷を与える可能性があると言える。

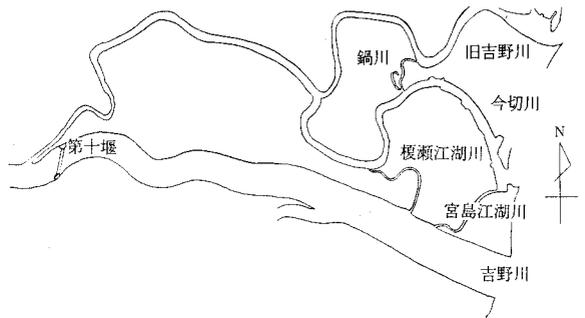


図-1 調査対象区域

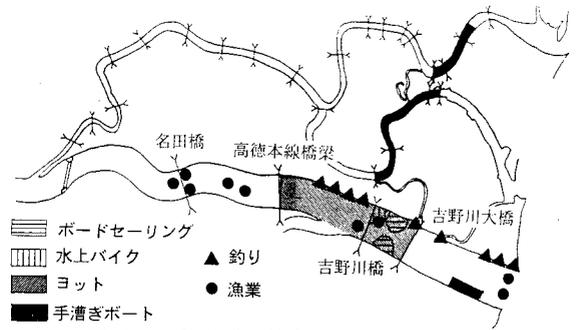


図-2 活動場所の競合

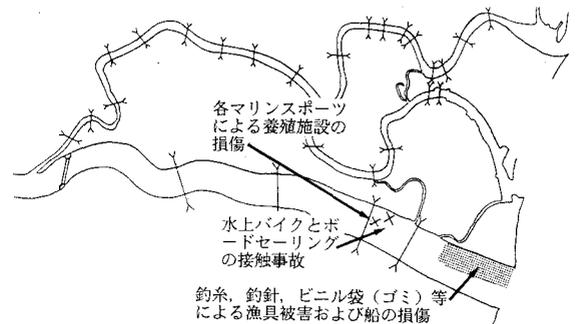


図-3 活動場所の競合によるトラブル

②船舶の不法係留 現在対象区域内には、図-4の●印のように不法係留が行われている。また不法係留船の数は吉野川に約130、旧吉野川に約320、今切川に約380、榎瀬江湖川に約160、鍋川に約80隻である。宮島江湖川に対しては公認係留河川に指定されている。このように不法係留が多数存在しているのは、現在対象区域周辺には3つのマリーナ施設（収容能力710隻）しかなく、いずれも飽和状態となっているためである。またこれによるトラブルには、図-5に示すように係留船で子供が遊び川に転落する等の水難事故、航行妨害、洪水時に流水の妨げとなり、水害を助長する恐れに、堤防、護岸、他の係留船を傷める恐れ等である。

4. 問題点の解消 上記の問題点を解消していくためにまず図-6に示すように河川の特徴別に空間区分を行う。旧吉野川は河口部の沿川で工業が発展しているため運搬用の大型貨物船の出入りが多い。また護岸の大半はコンクリート直立で水面までのアクセス能が低い。そこでこの空間は陸側にサイクリングロードや遊歩道を含んだ親水性のより高い護岸を整備し、主として陸域から河川景観に親しみを求める空間とする。榎瀬江湖川、宮島江湖川、鍋川は水面を積極的に利用するには川幅が狭いことに加えて、宮島江湖川が公認係留河川であり、他の二河川にもマリーナ建設計画があることを考慮し、不法係留を解消するためのマリーナ空間とする。吉野川は、広い水域や自然空間、高水敷を保持し、また市内から近く、水面からの景観も優れているために水面利用空間とする。

また、活動場所の競合を解消するため図-7に示すような水面利用空間区分を行う。これは現在のマリンスポーツ、釣り、漁業の活動場所、各マリンスポーツの特徴、マリンスポーツ関係者の希望等を踏まえて決定したものである。さらに今後、水面利用空間を正確に区分していくには各マリンスポーツ、漁業組合、釣り連盟、建設省等の代表者による協議の場を設置することが必要になると思われる。

謝辞：本研究は（財）河川環境管理財団河川整備基金助成事業の補助の下に実施された。ここに記して謝意を表する。

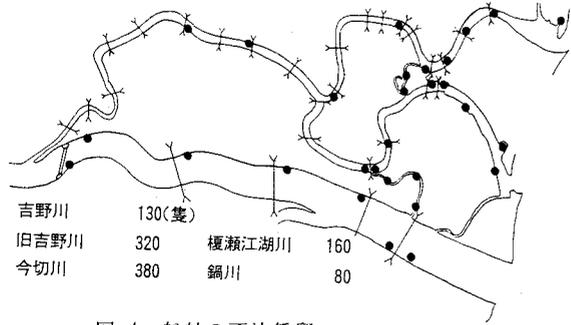


図-4 船舶の不法係留

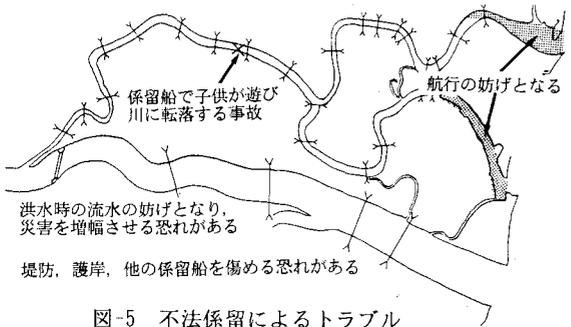


図-5 不法係留によるトラブル

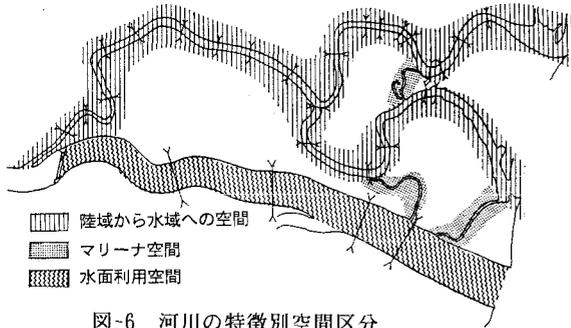


図-6 河川の特徴別空間区分

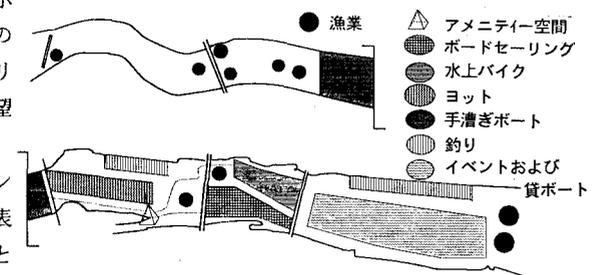


図-7 水面利用空間区分